

加藤もとあき

県議会
レポート
Vol.4



～豊かな県政、夢と希望の沼津～



世界中が新型コロナウイルスの猛威によって大変な状況となってしまいました。静岡県内では、今のところ感染者が少数で止まっているのは幸いですが、経済の停滞により伊豆を中心とした観光業への影響は甚大であり、以下議会レポートの通り、先の県議会でも様々な議論を踏まえての対策を講じたところでありますが、今後、製造業等幅広い影響も必至であることから、議会としても適時適切な即時対応ができるように努めていきます。

なお、一方で2020東京オリンピック・パラリンピック開催が残念ながら延期となってしまいましたが、私は県東部での自転車競技開催の機運を盛り上げて観光振興につながる様に、5月には狩野川堤防を活用してのサイクリングイベントを初企画、沼津市のレガシーとなる様に尽力したいと思っております。

今回の様な大きな困難が生じた際に、しっかりと社会や経済を下支えし新たな局面に導いていくのが政治の役割～絶えず前向きに行動して参ります！

1 2020年3月定例県議会レポート

(1) 新型コロナウイルス感染症緊急対策！

県議会自民改革会議では、感染拡大防止、経済的影響の最小化を目指し緊急のプロジェクトチーム立ち上げ、各業界団体、教育関係等へのヒアリング調査を急遽行い、県への要望を取りまとめました。

(私は農林水産および学校関係担当)

それらも踏まえ、県がコロナウイルスへの追加対策を3月18日

県議会本会議に上程、令和2年度予算と共に可決しました。

コロナ追加分で総額約24億円、対策の軸は以下3つとなります。

※今後も県内の状況を注視しながら適宜追加対策等を講じていきます。

県の対策内容

① 感染拡大防止策と医療提供体制整備

→ 感染拡大に備えた医療機関の病床増・人工呼吸器・PCR検査費用の負担、社会福祉施設の多床を個室に改修する費用負担

② 中小企業支援

→ 融資枠500億円へ拡大(限度5000万円→8000万円へ、利子補給拡大)、保証料助成で事業者負担ゼロへ

③ 観光誘客対策

→ 県内宿泊施設の1月～4月までのキャンセル49万人、4月以降の予約も厳しいため、感染収束が見えた時点での国内外需要喚起策、空港利用拡大対策を講じる



県議会総務委員会でコロナ対策について質問及び要望 (3月18日)

(2) 令和2年度 静岡県予算 過去最高の1兆2,792も可決成立！

3月18日県議会本会議にて令和2年度予算も可決成立。県事業は幅広く多岐に渡りますが、東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催もあり重点的な取り組みのひとつにスポーツを掲げ、また、県内経済の成長に向けた各種振興策を盛り込んだ上で、教育、福祉、社会基盤整備の充実を目指しています。それらたくさんの施策の中から特徴的なものをご紹介します。

【R2年度の新事業または特徴的的事业】 ()内は予算額

- **東京オリンピック・パラリンピック自転車競技関連事業 (19億円)**
→ 聖火リレー、都市装飾、大会運営、レガシー推進(小中生招待12400人)
- **国の太平洋自転車道化計画に合わせた県内自転車道整備(4.7億円)**
- **EV・自動運転化技術促進事業 (3億円)**
→ 次世代自動車センター(浜松)支援、5G通信環境導入、車両研究&改修等支援
- **先端農業プロジェクト事業(5.8億円)**
→ 沼津市にある先端農業研究AOI-PARCでの研究開発推進
- **マリンバイオ産業振興事業 (6.5億円)**
→ R2.10清水に海洋生物資源の革新的技術開発拠点を開所
- **県産品輸出促進関連事業(6.5億円)**
→ 海外販路拡大の支援、静岡茶輸出拡大、輸出規制対応支援
- **県農林環境専門職大学のR2開校(磐田市)、運営(20.7億円)**
- **県職業能力開発短期大学校整備事業 (42.7億円)**
→ 県技術専門学校を短大に、沼津校もR3短大化
- **医師確保対策(13億円)**
→ 医学生への資金貸与による招致、退職医師の再就業支援、著名な指導医招聘
- **静岡がんセンター事業(16億円)**
→ 高度がん診療のための研究、機材整備費用、一般会計より69億円補助
- **発達障害者支援センター開所 (1.8億円)**
→ 東部=沼津(職員9名、医師1名)、中西部=島田への開所
- **ICT教育事業 (8.8億円)**
→ 1人1台端末に向けたタブレット、無線LANポイント整備
- **県立高校へのエアコン設置、校舎建て替え (25億円)**
- **特別支援学校三島田方新校整備、特別教室エアコン設置など (61億円)**
- **沼津駅周辺総合整備事業(2.9億円)**
→ 用地物件補償、埋蔵文化財調査、測量調査

静岡新聞



★県立がんセンター能力増強へ
病床607→615(全床開棟)
医師定数 165人→200人(+35人)
看護師定数629人→642人(+13人)

【沼津市に関係のある定常的な主要事業】

- **企業立地助成事業 (74億円)**
→ 工場新增設の用地取得、建設費支援
- **観光関連事業 (20.4億円)**
→ 海外誘客推進、旅行商品づくり、観光施設整備、駿河湾フェリー
- **認定こども園整備助成 (計15.6億円)**
→ 沼津市も1園増改築予定(春の木幼稚園)
- **保育所、放課後児童クラブ運営助成 (30.5億円)**
→ 沼津市 金岡D放課後児童クラブを創設
- **こども医療費助成 (25億円)**
- **特別養護老人ホーム等整備支援 (29億円)**
- **県単独 生活環境整備=道路、河川、農地、観光施設 (280億円)**
- **県土強靱化対策=河川、砂防の緊急浚渫対策、道路防災対策 (30億円)**
- **地震津波対策 (114億円)**
→ 建物耐震化、避難路/施設整備、資機材備蓄食料、防潮堤、水門整備
- **交通安全施設整備 (44.3億円)=信号機 (沼津市内1機新設)、道路標識整備等**
- **私立学校の運営費助成 (188億円)**
→ 県内私立小中高75校および幼稚園129園の経費助成
- **私立高等学校の授業料減免 (88億円)**
→ 県独自に年収700万未満世帯まで拡充



沼津市牛臥海岸の津波防潮堤工事

2 加藤もとあき 県議会議員 日々の活動レポート!

～県議会議員として日々様々な活動に邁進しておりますが、その最近の記事から抜粋してご紹介します～
※詳しくはブログ、フェイスブックをご覧ください。

(1) 自動運転へのハードルの高さを実感! (1月27日)

県議会自民会派の1期議員8名で沼津駅南口～沼津港のサンサン通り、約2km区間における低速(20km未満)バスによる県の自動運転実証実験に試乗。

実際に試乗してみて、やはり自動運転へのハードルの高さを実感。今回の車両は、画像センサー&GPSを駆使して前方の駐車車両や信号、歩行者を検知し、車の動きをコントロールするものですが、例えば、片側2車線で左側車線を走行中に前方に駐車車両があった場合、右車線に進路変更して追い越す際、前方車両に加え右車線の後続車をかわさなければならず、低速で後続車との速度差があるためヒヤヒヤする場面もありました。

また、交差点右折は、信号、対向車、横断歩道歩行者を判断しなければなりません。果たして画像センサーのみでの判断で大丈夫?と感じてしまいました。今回の走行中、何度も運転手さんが手動運転で対応していたのは、その難しさを表していたと思います。

しかしながら、次世代技術として必須ですので、財団法人浜松イノベーション推進機構内に県やスズキ自動車の支援で設立した次世代自動車センターとも協働し、実用化に向けて邁進して頂きたいと思っております!



(2) 静岡県産木材の積極的な利活用を! (2月5日)

静岡県議会林業活性化議員連盟による九州への視察研修に参加。林業の課題は省力&効率化、収益性向上ですが、航空レーザ計測など先端技術活用のスマート林業、県産材使用の公共施設、世界有数の近代化製材工場を視察、本県も更なる施策強化の必要性を実感しました。

静岡県の木材生産はH24年の25万m³から再生プランのもと45万m³に拡大。これまで、間伐(かんばつ=樹木どうしの競争を軽減するため一部の樹木を伐採すること)から一定面積全体を伐採する主伐(しゅばつ)に力点を置き生産性増加。課題は価格で県産材(スギ・ヒノキ)が6~7万円/m³に対し外国産5~6万円/m³、住宅1棟約20~25万m³なので価格差約30万円、これを埋合せて活用してもらえる様に1棟30万円(リフォームは7万)の助成を県が実施、年間1300件、約2億円をかけています!(ちなみに県民は森づくり県民税年400円払っています)

今回の九州ではIT技術を駆使しての管理のスマート化で外国産並の価格を実現し補助金もありません。本県の材木産出も東部、伊豆で増加傾向とのこと、需要を増やして価格ダウンさせていくためにも、県産木材の指定、活用をお願いします!



(3) 2020東京オリパラレガシー～狩野川サイクルロード化テスト!(2月11日)

オリパラ開催が延期となりましたが、観光誘客、地元経済振興につながる施策をレガシーとすべきと考えており、昨年の県議会一般質問でも「富士山を見ながら狩野川サイクルロード化」を取上げ、その仕掛けやPR、交通安全性確保に向けた道路改修を求めました。

これに対し、県交通基盤部&県土木事務所も理解を示し、R2年度での一部改修工事予算の確保、設計を進めてくれています。そんな中、より関心を持って頂くように体験走行PRイベントを5月に実施予定ですが、そのテスト走行を、爽やかな天候の下、実施しました。

沼津港発～函南ゲートウェイ(道の駅)までの間、加和田建設が展開しているレンタル電動自転車「ハレノキサイクル」を使用。

函南ゲートウェイで新鮮牛乳&イチゴシュークリームを楽しみ、沼津港に戻ってからのランチミーティングではたくさんの意見、アイデアが出され、企画を煮詰めることができ、大きく一歩を踏み出しました。5月9日(土)沼津魚市場出発の本番が楽しみ～是非、ご参加下さい!



(4) 県看護専門学校に本年度から助産学科が新設!(2月14日)

清水町の国立医療センターに隣接する県看護専門学校に本年度から助産学科が新設され、視察してきました。そもそも、県東部には助産学科がゼロ、現在の助産師資格を持つ看護師は、妊娠・出産・育児の切れ目ないケアも担うこととなっており、東部地区助産師が少ないことから養成校設置が必要でした。

定員は10名で、1年間の教育となり、生徒は看護師有資格者がほとんど。学費は年約17万円ですが、実際の1人当り費用は100万円を超え、その差額は県が負担。また勉強用器材は最新ですが、そのリアルさにはびっくり!

課題は、資格取得には生徒ひとり当り10例の分娩で赤ちゃん取り出しを実際に行う必要があるものの、近隣の病院での実例の確保が少子化により難しいこと!しっかり勉強して頂いて、助産師さんとしての今後の活躍に期待します。



(5) 沼津市志下 急傾斜地崩壊危険対策事業、1区画の難工事完了!(3月13日)

地元の皆様が対策要望書を提出し、多くの地権者の皆さんの合意を1人ずつ得るなどして、苦勞してきた急傾斜地崩壊危険対策の一部工事が完了しました。ここまで10年余が掛かりましたが、とにかく良かった!

住民の方は台風の度に避難生活を強いられましたでしたが、これで、ようやく安心して眠れます・・・あと4区画の工事がありますが1日も早い完了を目指します!



(6) 静岡県ブラックアンドホワイトショーとは?(3月15日)

第51回となる静岡県ブラックアンドホワイトショーに出席!と言っても何の行事かわからないと思いますが、これは県内畜産家による乳牛の品評会@長泉町の静岡経済連東部畜産センター。ホルスタイン種の成長年齢等による15部の審査があり、写真は生後12か月未満の牛達~これらのうち最も将来良い生乳を出すであろう牛を表彰するのですが、その見極めは、やはりスタイル(姿勢)の良い牛=背中ラインが横一直線&後ろ足が直角に長いなどだそうです!我々人間も姿勢が良くないとダメ??気を付けましょう(笑)

一方で畜産業界は輸入関税の引き下げによる外国産製品の輸入増で将来的に厳しい状況に~政治的支援が不可欠です!



(7) 静岡県温水利用研究センターで海洋資源を確保!(3月16日)

沼津市口野にある静岡県温水利用研究センターを視察。本所である御前崎センターの分所として沿岸漁業の振興に向けてマダイ、アワビ、ノコギリガザミ(カニ)などをふ化して育て海に帰し、水産資源の確保に努めています。

その数は年間マダイ100万(尾)、アワビ30万、ガザミ4万!駿河湾で釣りをするとこの卒業生(笑)が上がることもある(約3割と言われています)わけですが、その見分け方ご存じですか??

タイは通常鼻孔が片側2つあるのですが、何故か養殖では2つが繋がって何故か1つに!機会あったら是非確かめてください。

ちなみに、この施設は40年以上経過し老朽化進み、水槽など使用出来ないものもあることから、R2年度の県予算で建替えに向けての設計を行う予定。その際には、水槽(ひとつでマダイ10万尾)の数を増やしてより多くの育成が出来るようにしたいと思います!



▼天然魚と人工魚の違い



県民の皆様の様々な取り組みやご意見、ご要望を是非お聞かせ下さい。
豊かな県政発展のために、どんどん行動して参ります!

加藤 元章プロフィール 昭和38年11月9日 旧原町生まれ



- 静岡県立富士高等学校卒業
- 早稲田大学 政治経済学部卒業
- 三菱自動車工業(株)東京本社勤務(商品企画プロダクトマネージャー)
- H15 沼津市議会議員初当選、以降、4期連続当選
- 総務経済・民生病院・建設水道 委員長歴任、第94代副議長
- H30 沼津市長選挙挑戦
- H31 静岡県議会選挙初当選、自民改革会議所属

加藤もとあき事務所

TEL 055-962-3190
FAX 055-960-9720
〒410-0036
沼津市平町 24-4-902
E-mail : motoaki-kato@npo-stds.com
H P : http://www.motoaki-kato.net

